

## 事業報告書（令和元年度）

事業名 「世界の宝石—瀬戸内海」を磨く～海底探検隊2019

団体名 特定非営利活動法人グリーンパートナーおかやま 担当者名 高原俊彦

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

【日時】令和元年11月30日（土）8時30分～16時

【場所】香川県小豆郡土庄町（瀬戸内海海上）、四海漁港

【参加者】一般参加者、行政関係者、ライオンズクラブ関係者など

【人数】参加人数72名、スタッフ8名

【内容】

瀬戸内海に面した香川県小豆郡土庄町にて「海底ごみ回収底引き網体験学習」を実施しました。早朝新岡山港に集合し、四海漁港へ遊覧船で向かい、到着後漁場へ出発。底引き漁船が網を引き揚げる様子を、参加者は遊覧船から見学しました。魚とともにごみが回収される様子を見て、参加者からは驚きの声が上がっていました。行き帰りの船中では、環境省の担当者から「海ごみ」の現状などについて話を聞きました。

回収後、四海漁港において参加者全員でごみの分別調査をしました。当日回収したごみや溜めていたごみを、空き缶、ビニール袋、プラスチックなどに分別しましたが、明らかに生活環境から出たと思われるごみが多いことを全員で確認しました。

その後四海漁業協同組合会議室で開会式を行った後、グループに分かれワークショップを実施しました。ワークショップでは、どんなごみが流れ海にどのような影響を与えるのか、どんな瀬戸内海になってほしいかなど、話し合いをしました。

いずれも幅広い世代の人が楽しんで参加できる内容で、海ごみをなくすことの重要性を学ぶことが出来ました。

### 2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

「海ごみ」特に海底堆積ごみの最大の問題は、それが市民の日常からは見えないことにあるため、解決すべき問題と認識されないことにありました。

そこで、漁業者の皆さんが網にごみがかかって困っていることを実際に体験してもらうとともに、ごみが自分たちの日常生活から出ていることを知ってもらうことで、多くの参加者に自分たちも当事者であることを認識してもらえるようになりました。特に、近年国際的な問題となっているマイクロプラスチックが「海ごみ」と密接に関連すること、この問題は私たちの生活そのものを脅かしかねないものであるということを感じていただけたと思います。

このことによって、そのままでは行き場のなかった「海ごみ」が、回収や発生抑制の対象となり、環境負荷の低減につながる取り組みへと繋がっています。

### 3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

実際にごみが海から上がってくる様子を見て、参加者は大変驚くとともに、自らごみの分別を行うことで、生活環境から発生したごみが多いことを実感していました。

また、ワークショップなど参加型の取り組みを通じて、楽しみながら自然の大切さを学んでいただけたと思います。

今回も参加者の年齢や職業は多様で、従来から支援いただいている行政関係者をはじめとする様々な階層の参加者が、共通の課題に向き合うことで交流ができたことは、最大の成果です。

さらに、今回は336B（岡山・鳥取）地区の代表をはじめ多くのライオンズクラブ関係者にもご参加いただき、今後の問題解決の広がりが期待できるものです。

瀬戸内海の自然環境、ごみ問題などの課題を共有でき、ESD活動としての取組みが出来たと考えます。

### 4. 今後の課題と展望

#### 【課題】

持続可能な活動とするためには、漁業者も含めすべてボランティアとするには限度があります。補助金・助成金に依存しない財政基盤の確立が急がれます。

そのためには、この問題にかかる行政の役割や位置づけを明確にすることが必要だと考えます。

さらには、マイクロプラスチックを含む問題の重要性に関する認識が、地域住民にも十分浸透しているとは言えず、日常生活との関連も含め、持続的な広報啓発を行っていかねばなりません。

#### 【展望】

瀬戸内海は我々の生活や文化と密接にかかわりがあります。「海ごみ」問題は、単に海にごみが溜まるという一面的なとらえ方だけではなく、自然環境を保全は最終的には人間の生活環境すなわち生命を守ることにつながることを認識してもらい、今後の具体的な行動へつなげるきっかけにしたいと思います。

また、海の問題にとどまらず、途中の河川的环境や日常生活におけるごみのポイ捨て問題、さらには河川の源流にある山林の保全の問題にいたるまで、すべてが関連し繋がりを持つ問題であることを、体験を通じて認識してもらえるよう取り組みを検討していきたいと思います。



## 底曳網体験学習「海底探検隊 2019」

11月30日の朝9時に新岡山港に集合した80名は、チャーターされた遊覧船に乗り込み、小豆島の四海漁港をめざして出航しました。

四海漁港に到着後、香川県からの参加者も合流し、地元土庄町長の歓迎のあいさつを受けて、再び乗船。一路小豆島沖へ。船内では環境省中国四国環境事務所の石川さんから海ごみの話を伺いました。

今回もご協力いただいた四海漁業協同組合の底引き網漁船8隻が操業する沖合に到着し、間近で漁の様子を見学しました。底引き網が引き上げられると多くの魚とともに、ビニール袋などのゴミが上がってきて、参加者はその量の多さに一様に驚いていました。

四海漁港に帰ってから、参加者全員で引き揚げられたごみの分別作業を行いました。

午後から行われた開会行事では、まず、主催者を代表して、グリーンパートナーおかやまの藤原瑠美子理事長が挨拶。

東京から駆けつけていただいた環境省の森本英香顧問からは「海底ごみまで取り組んでいる海底探検隊は最先端。是非続けていただけて広がってほしい。一人ひとりの取り組みが大事。環境省としても応援したい」とエールをいただきました。

本事業に多大なご支援をいただいているライオンズクラブを代表して、ライオンズ国際協会 336B 地区の小野ガバナー、そして長年お世話になっている地元土庄町の岡田元町長からもご挨拶をいただきました。

全員参加で行われたワークショップは、中平徹也氏、友延栄一氏の進行で、幅広い世代をグループ分けして行われました。

「あなたはどんな海が好きですか」

「海ごみをなくすにはどうしたらいいですか」

「私ができることは何でしょう」

和気あいあいと楽しい雰囲気の中、日頃の取り組みが大切だということを全員が胸に刻みました。



藤原理事長



環境省 森本顧問

LC 小野ガバナー

岡田 元町長





世界の宝石  
「瀬戸内海」を磨く

海ごみから流域環境を考えるプロジェクト

# あなたのゴミが海ごみに

私たち岡山県人が誇りに思う美しい瀬戸内海。実はその海底にごみがたくさん溜まっているとしたら…。私たちに身近な環境の現状を一緒に考えませんか？多くの皆様のご参加をお待ちしています。美しい瀬戸内海を後世に残すために…。

## クリーンアップ大作戦

瀬戸内海の海洋ごみの約7割が陸からの流入とされています。  
流入経路の一つである河川のごみを綺麗にして、海ごみになるのを止めましょう。

日時 2019年11月10日(日) 9:00～16:00

場所 百間川河川敷

※集合場所：

百間川河口 防潮堤広場

内容 一斉清掃・ゴミ分別・  
計量・ワークショップ



ゴミの分別

## 海底探検隊2019

漁協等の協力により底曳網船により海底ごみを引き揚げ、調査分別を含む体験学習を通して、瀬戸内海の海底の美しさを取り戻す啓発活動を行います。(詳細は裏面へ)

日時 2019年11月30日(土) 9:00～16:00

場所 新岡山港～四海漁港～小豆島沖

定員 60名

内容 底引き網船による回収作業見学  
ごみの分別・調査・ワークショップ 他



底曳網船による回収

■主催：NPO 法人グリーンパートナーおかやま  
海ごみプロジェクト2019実行委員会

■協力：岡山後楽ライオンズクラブ

■後援：環境省中国四国地方環境事務所、

国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所、香川県、岡山県、岡山県教育委員会、岡山市  
岡山市教育委員会、山陽新聞社 ほかマスコミ各社(いずれも申請予定)



# 海底探検隊2019 in 小豆島

## 募集資格

海の環境に興味のある小学校3年生以上であれば、学生・一般を問わずどなたでも参加可能です。(保護者同伴も可能)

## 募集人数

先着60名

## 参加費

大人、子供とも 1名1,000円(昼食代含む)  
※当日、ご持参ください。

## 当日必要な物

レインコート、ビニール手袋、軍手、タオル、飲み物、帽子、着替え、長靴(汚れても良い靴)、乗り物酔い薬(必要な方だけ)、船内での軽食

## 申込方法

申込書に必要事項を記入のうえ、FAXにて送信してください。  
また、メールでも受付可能です。  
グリーンパートナーおかやま [gpokayama2011@gmail.com](mailto:gpokayama2011@gmail.com)

## 申込締め切り日

11月22日(金)

## 小雨決行

※荒天の場合は、当日7時に中止を決定。  
参加者の皆様には電話でご連絡します。

お問い合わせ・お申込先

NPO法人グリーンパートナーおかやま(藤原まで)  
岡山県岡山市南区郡12番地の2  
Tel&Fax.086-267-2478  
<http://gp-okayama.com/>  
Mail: [gpokayama2011@gmail.com](mailto:gpokayama2011@gmail.com)

2019年

11月30日(土)

- 8:30 新岡山港集合(岡山地区)
- 9:00 新岡山港出発 小豆島参加者は四海漁港に集合
- 10:20 四海漁港着
- 10:30 漁船による底引網を海上から見学
- 11:30 回収ごみを分別・調査  
〈昼食〉
- 13:00 開会式
- 13:20 ワークショップ
- 16:20 四海漁港出港 小豆島参加者は解散
- 17:30 新岡山港到着・解散



## 海底探検隊2019 in 小豆島 参加申込書 **FAX 086-267-2478**

ふりがな お名前	学年・生年月日	ご住所・メールアドレス	当日連絡がつく電話番号
	〒 - 年 月 日生( 年生)	@	- -
	〒 - 年 月 日生( 年生)	@	- -
	〒 - 年 月 日生( 年生)	@	- -
	〒 - 年 月 日生( 年生)	@	- -
	〒 - 年 月 日生( 年生)	@	- -

※参加者が生徒・学生の場合は学年をお書きください(小学校3年生以上が参加資格です)。  
※個人情報を当行事の連絡以外に利用したり、第三者に提供することは一切ありません。 ※傷害保険(ボランティア保険)に加入します。  
※集合場所への移動は、公共交通機関や車へ乗り合わせるなど環境に優しい移動を心がけましょう!